致道博物館 記念特別展 第2部

中興の祖 酒井忠徳と庄内藩校致道館

6

ちをいたす)」から、「致 多様な解釈が生まれました。 及しましたが、簡潔すぎて とても簡潔な文面で広く普 00年後に成立しました。 道館」と命名されました。 の一節「君子学以致其道(く んしまなんでもってそのみ 意味を定めにくく、後世に **子の没後に編纂され、約4** 子と高弟の言行録です。 孔 『論語』は、儒学の始祖孔 学校の名称は、『論語』 儒学では、武力で国を支

あると唱えます。君臣や親 徳で「政治」を行うべきで 配するのではなく、君子の いたのが孔子です。 忠孝や礼儀を重んじること 子などの上下関係に基づき、 が社会の平和に必要だと説

江戸幕府が採用した朱子 として奨励されました。 と身分社会の維持に都合が よく、武士が学ぶべき学問 た。それが幕府の封建制度 儒学の中でも上下関係、礼 者朱熹が解釈したものです。 学は、中国南宋時代の儒学 節や道徳を特に重んじまし

> 藩でも朱子学を学んでいま 江戸時代中期まで、庄内 あたり「徂徠学」を採用し た優秀な学者でした。 矢太夫自身も徂徠学を修め の祖父は徂徠の門人であり、 た白井矢太夫です。矢太夫 農政改革で忠徳の信頼を得 ます。学校設立の責任者は、 忠徳は、致道館の創設に

うなど、心身の鍛練にも励 みました。 夜歩き続ける「遠足」を行 教育だけでなく、終日野外 あります。武芸は専任師範 習を重視した学風に特徴が 詰め込みではなく、自学自 が色濃く反映され、知識の が指導にあたり、校内での に出て鳥刺しや釣魚、一昼 致道館は、徂徠学の影響

別」などがありました。他 朗が幕府でも認められる存 在だった」「譜代大名で特 た理由を調べると「水野元 しました(勿論、徂徠学も)。 は朱子学以外の学問を禁止 庄内藩が徂徠学を採用でき で幕府の学問所・昌平黌で ところで、「寛政の改革」

始めた頃、「寛政の改革」

忠徳が学校開設の準備を

酒井家庄内入部400年

曹谓轨與仲之多维理知道上

下二千載 龍出其右 於

也馬野不相緣物氏三思軍不 沈這於達也貼然相若二知翁 曼共日解其在風神馬特班望

為教友今親其真猶与達避后

余不及兄未省村連相難十年

寬政辛亥五月 人見恭 禮题 圖 题

教代本の様不過かられて 松和一解一番河,也能乐 有具人的被好了個的為 おおおいの見るおが なの後にき一個後しるた 山心を行の道八被楽る ですおいるなしなか 中南を待の住の飲食 から改善感解や たる此の動をみ、大野

5代忠義の正室の生家で、 長年の姻戚関係にありまし

家4代忠当と 平家は、酒井 する大河内松

信明を当主と

した。しかも、

①寛政改革の影響力低下

挙げてみたいと思います。

に考えられる理由を2つ、

内藩の学問の自由を、忠徳 ち得たのかも知れません。 は政治力と人間関係で、 は良好だったようです。 信が苦手でしたが、信明と 忠徳は仮病を使うほど定 勝 庄

高まり、影響力は弱まって

優れた理想を掲げた改革で

したが、厳しすぎて反発が

(致道博物館主任学芸員・

老中首座を退いています。

の義弟)は、既に失脚して を主導した松平定信(忠徳

政治の道であり、民生を豊 後世の注釈にとらわれずに ます【写真2】。徂徠学は、 と番頭疋田進修とされてい 派です。学問は世を治める かにすると説いています。 儒学を解釈しようとする学 語句や文章を正しく理解し、 直接師事した家老水野元朗 は、荻生徂徠【写真1】に した。徂徠学を提唱したの

学校づくりは大変〈学問編

【写真1】荻生徂徠像

の関係 となる人物で えた書簡 子・忠器の舅 は、忠徳の息 老中首座とな ②幕閣と忠徳 問に徂徠が答 **徠先生答問書** いました。 った松平信明 【写真2】 徂 定信の後に 水野らの質